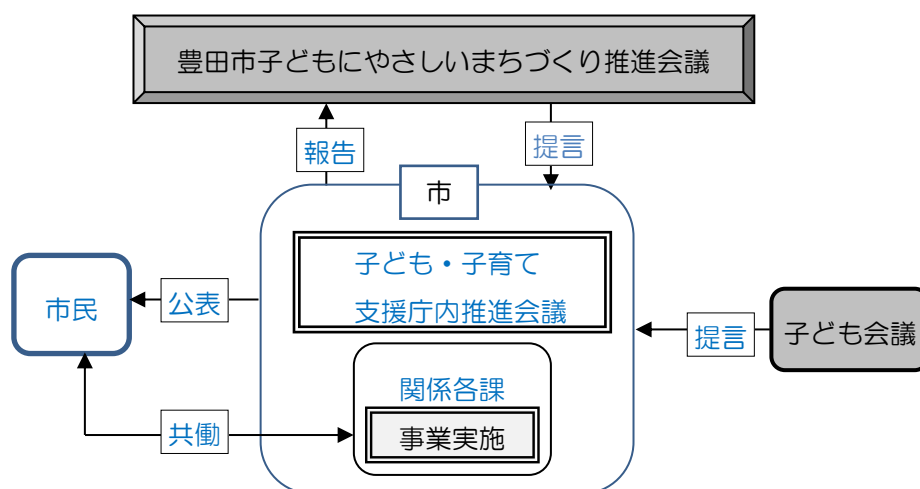


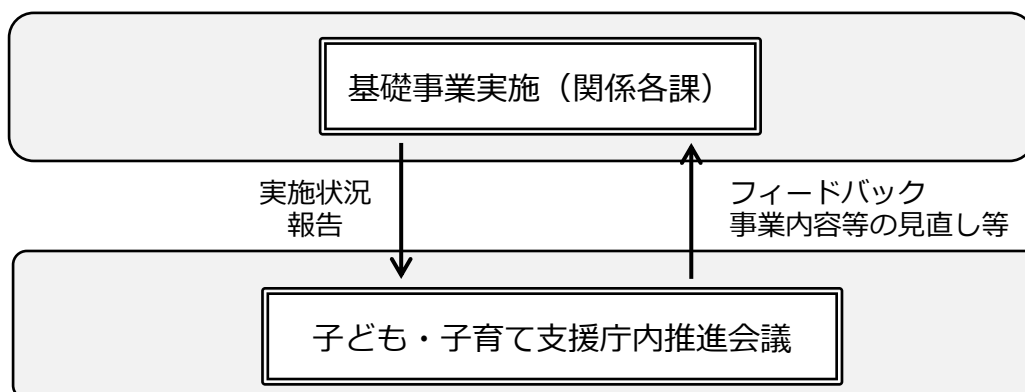
## 第3次子ども総合計画の推進体制について

第3次子ども総合計画の推進に向けては、「PDCA サイクル（計画 Plan→実施 Do→評価 Check→改善 Action）」に基づき、事業の実施状況を毎年調査・公表していきます。

また、進捗にあたり、「豊田市子どもにやさしいまちづくり推進会議」が計画推進体制の要として、事業・施策の進捗を点検・評価、計画及び実施体制の改善等に関する協議・提言を行っていきます。また、庁内の横断的な取組を図るため、「子ども・子育て支援庁内推進会議」を開催し、主に重点事業群の実施に向けた検討を中心に、子ども・子育て支援施策・事業に関する庁内の意見の取りまとめ・意思決定を行います。そして、「豊田市子ども会議」は、計画事業への子どもの意見の提言・提案などの役割を担います。



## ＜庁内の推進体制＞



## 【子ども・子育て支援庁内推進会議の役割】

- (1) 基礎事業の実施状況確認  
⇒基礎事業の実施状況の報告及び情報提供等を行い、効果的な事業展開を図る。
- (2) 重点事業群を中心とした事業実施進捗状況確認  
⇒情報提供及び事業の実施状況の進捗報告等を行うことで、庁内の横断的な取組を図り、重点事業群等の展開方法についての検討・意思決定を行う。
- (3) 子どもの視点による評価  
⇒子どもにとって最善の利益になっているかどうかの視点による評価を行い、今後の施策展開につなげる。